

## ■つくば3研究教育機関男女共同参画シンポジウムを開催しました。



9月5日(月)につくば国際会議場で、「多様性とそのマネジメント～つくばにおける男女共同参画共同宣言とこれから～」と題し、現在「女性研究者支援モデル育成事業」を行っているつくば地域の3機関(農研機構、筑波大学、農環研)の主催するシンポジウムを開催しました。

このシンポジウムには、つくば市内外から100名を超える参加があり、Joan.W.Bennett博士(米国Rutgers大学)の基調講演、有賀早苗教授(北海道大学副理事・女性研究者支援室長)の特別講演に耳を傾けました。

プログラム後半では、主催3機関からそれぞれ特徴のある女性研究者の研究活動を支援するメニューの紹介、続いて、2年前に「男女共同参画宣言」を謳ったつくば地域内の6研究教育機関の代表者によるパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、(1)支援研究員の配置について、(2)独法研究機関と大学との違いについて、(3)地域に向けた取組について、の3つの具体的なテーマに関する意見交換が行われました。

最後に、主催者から、つくば地域における研究教育機関どうしの連携を「つくばモデル」として育てていくことが提案されて、閉会しました。

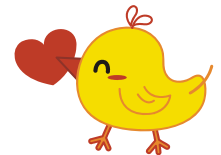


## ■健康相談・メンタルヘルス相談の匿名受付始めました。

9月から、匿名での申込み受付を始めました。

お電話、または、メール(フリーメール可)でお申込みいただけます。

詳しくは、ガルーン掲示板をご覧ください。



# News Letter

## 10月

### シンポジウムを 開催しました号



2011.10.17